

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成21年 学校教育だより

December **12** 第303号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線623)



笑顔いっぱい 日光東照宮で —— 修学旅行 —— 写真提供/針ヶ谷小学校

海のような音楽会

みずほ台小学校 四年

富田裕奈

音楽が聞こえる。

どこから聞こえる。

ここから聞こえる。

何が聞こえる。

ひよつこりひよつたん島、

思い出がいっぱい。

楽しいの。

楽しいよ。

だって、

みずほ台小学校の音楽会は

ウキウキする曲、

きれいな曲があふれている。

そう。まるで海のように

あふれてるの。

小学校外国語活動がめざすもの

小学校外国語活動の目標は、「コミュニケーション能力の素地を養う」ことです。英語のスキルを伸ばすことが目的ではありません。目標を達成するために、次の三つの柱があります。

- ① 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めさせる。
- ② 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ③ 外国語の音声や基本的な

表現に慣れ親しませる。



○体験的に理解させる

言語や文化についての知識を単に与えるのではなく、言語や文化を題材にして、児童が実際に外国語を聞いた話したりするなどコミュニケーションの体験を通して、言語や文化について理解させたいです。

ALTや学校応援団の英語ボランティアを積極的に活用して、外国語を体験する授業を進めています。また、子供たちが外国語を使いながらゲームを楽しむことで、体験的に学ぶ仕組みを作っています。

特別支援教育

『困った子』でなく『困っている子』の視点で支援を

富士見特別支援学校特別支援教育コーディネーター

阿部 和彦

『問題児』つてはたしてどんな子ですか。

『問題行動』とは誰に対してのどんな行動であって、いったい誰が一番困っているのでしょうか。

担任の先生や保護者と共に本人の『困り感』に寄り添い、支援策や配慮策を考えさせていただくのが私の仕事です。

支援するにあたり、私が

常に念頭に置いているのは、『困った子ではなく、困っている子の視点で支援する』ということです。

一番困っているのは、『担任の先生でもクラスメートでも保護者でもなく、本人』なのです。

支援は『くさび』と同じです。ですから、『必要なところにだけ、目立たないようにさりげなく、早く、確実に打

つ』ことが肝要です。

子供たちが「学校つて楽しい。」や「私つて、案外すてたもんじゃないかも。」と自信を持てるようにお手伝いをさせていただくことが私の使命だと思っています。

「最近元気がないなあ。」や「ちよつと変だぞ…。」を感じたら迷わず担任の先生に相談しましょう。それは、子供たちからのSOSのサインかもしれません。また、日頃からいつでも相談し合える関係を心がけたいものです。

* (例) 『Who am I?』ゲーム
班に配られた一枚の動物の絵カードをもとに、動物のヒントを考えます。学習した英語表現をヒントに使って全体にそのヒントを投げかけ、何の動物か当ててもらいます。



○コミュニケーション能力を育てる

日本語とは異なる外国語の音声に触れることにより、外国語を注意深く聞いて、相手の思いを理解しようしたり、他者に対して自分の思いを伝える難しさや大切さを実感したりしながら、積極的に自分の思いを伝えようとする態度を育てています。

コミュニケーションを図るためには、ジェスチャーなどの言葉によらないコミュニケーションの手段も大切です。友達やALTとたくさんふれ

あう場面の中でコミュニケーション能力を育成しています。



ふれあおう

指導者 関沢小学校教諭 関根 麻有

わかる授業 = 小学校外国語活動 =

進んで人と

○外国語の表現に慣れ親しませる

子供たちの柔軟な適応力を生かして、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませます。体験的に「聞くこと」、「話すこと」を通して、音声や表現に慣れ親しませるように取り組んでいます。

英語特有のリズムやイントネーションを体得することにより、日本語と英語との音声等のちがいが、言葉の面白さや豊かさに気づかせることが大切です。チャンツやゲーム活動を楽しみながら、外国語の

教育随想

絆を大切に

水谷小学校校長

大津 朋子



岩見沢駅舎が二〇〇九年度グッドデザイン賞大賞を受賞したとニュースで報じていた。公共物が大賞を受賞するのは、初めてのことだそう。でも、私は、何よりも、受賞者の次の言葉が大変印象に残った。「建物をデザインしようとしたのではなく、街の未来をデザインしなかった。大切なのは建物ではなく、そこに集う人の姿だ。」

今、本校では、本年度発足した学校応援団が軌道に乗り、多くの方が学校に集い、その素晴らしいお知恵やお力を發揮していただいている。植栽ボランティアの方は、花壇の一つ一つに「おはよう花壇」「花文字花壇」と素敵な名前を付け、レイアウトを工夫して季節の花の苗を植えてくださっている。誰もいないはずのトイレか

子供たちの感想

○私は外国語活動で英語を使ったゲームをするのが楽しいです。楽しみながら英語を覚えらるるのがいいです。特に消しゴムをとり合う「キーワードゲーム」は、もり上がりません。(湯本 麗奈)

○私は、友達と英語を発音するのが楽しいです。友達といっしょに、果物や文房具の名前を言いながら、覚えられるのが、とてもうれしいです。また、友達と英語で会話する

ら何やら音がするので覗いてみると、清掃ボランティアの方が、お一人で便器磨きをしてくださっている。おかげでトイレの臭いも、今はほとんどしなくなっている。毎週読み聞かせをしてくださっているボランティアの方は、今度みなさんで集まって図書室の冬の飾り付けをしてくださるそう。

子供の夢や未来を願う保護者の方、地域の方の愛に心から感謝するとともに、今後も、人と人の絆を大切に、笑顔の行き交う学校づくりに尽力したいと強く思う。

のもおもしろいです。コミュニケーションを楽しんでいます。(桜井 真夢)

○私が、外国語活動で楽しいことは、外国の人と交流することです。交流すると、いろいろな国の人の服装や食べ物などを知ることが出来ます。また、外国の人と話すので、英語を正しく覚えられるのもうれしいです。(渡部 聡美)



○系統的に取り組む

本校では、学校研究として「進んで人とふれあい、コミュニケーションを図る児童の育成」に取り組んでいます。一、二年生では生活科、三、四年生では総合的な学習の時間を中心にして研究をしています。五、六年生では外国語活動でコミュニケーション能力の素地づくりができるよう

に、系統的に取り組んでいます。

○今後の課題

中学校との目標の違いを理解した上で、児童の学びをどのように接続させるかという点で中学校との連携が必要になります。

また、子供たちが生き生きと外国語活動に取り組むためには、教師の指導力をさらに向上させると共に、校内の指導体制を充実させていこうと考えています。

指導・講評

関沢小学校校長 内田 弘

外国語活動の授業が終わり職員室に向かうALT(外国語指導助手)のまわりには、いつも片言の英語で話しかけたり、腕にしがみついたりしている子供たちがいる。子供たちは、大人以上に外国人や英語に興味を持っている。

こんな子供たちの思いや願いを大切に、外国語にふれさせ、その楽しさや英語への関心を高めていくことが、中学校英語への円滑な接続を図るために、今、小学校に求められている。

心を育てる

勝瀬中学校囲碁・将棋部 外部指導者 立岡 悠

私は、平成17年春から囲碁・将棋部の外部指導者をしております。

「生きる力をはぐくむ」というテーマですので、常々、子供たちに言っていることを述べてこれにかえます。

私は囲碁を教えながら、子供たちに、
一、盤面の全てを見る
一、相手につられて打つな
一、自分の考えで打つ
といったことに注意させ、打たせていきます。



子供たちが、これから生きていく上で大切なことは、目先だけでなく全体を見て、他人の言うことに冷静に対処することや、自分の考えを常にもつことなどだと思っております。

囲碁は、これらのことを理解すると、自然に強くなると信じております。

囲碁という勝敗を争うものを人生にみためた場合、囲碁は勝敗よりも満足した碁が打てたかどうかが大事であり、人生も、満足した生き方をしたかどうかが大事だと思っております。

子と碁

鶴瀬小学校 6年

星野 紗希

11月13日に校内音楽会を行いました。今年度は6年生で最後の音楽会だったので、みんながんばって練習の成果を出しきりました。合唱は『ARUKI☆DASOU』という歌を歌いました。私はアルトのパートだったので初めて歌った時は音をとるのが難しくて何

鶴瀬小学校 校内音楽会

度も練習をしました。合奏は『classic～東欧の旅～』を演奏しました。私は鉄琴をやりました。みんなで合わせるのが難しく、休み時間に何度も練習しました。そして本番ではテンポが練習の時より速くなってしまったけれど、みんなできれいに合わせられたと思います。最後に大きな拍手をもらえてとてもうれしかったです。



おります。

中学生に人生の生き方を教えるのはどうかと思われれますが、囲碁を通して間接的に色々なことを教えております。「生きる力」とは、目的をもち、夢や希望を描く力だと思えます。

そのためにも我々大人は、夢のある社会を作ってやるべきであると考えております。



スポーツを通して

諏訪小学校保護者 小松 恵子

我が家のサッカー少年。父親の影響で幼稚園の年中から入団したサッカー少年団も、まもなく卒団を迎えます。

週二回、幼稚園のグラウンドで練習を重ねます。最近是人工芝になり、環境はプロさながらであります。黄色いユニフォームで毎回張りきって出かける姿を見るにつけ、このチームでサッカーができる喜びを実感することが出来ます。

チームの監督は、生涯を通して楽しめるスポーツとしてサッカーを教えてくださいます。戦術だけでなく、あいさつや思いやりなど人としての土台を子供の成長過程にそって論じてくれます。

試合の時は、ブルーシート敷き、テープ張りなど、準備は子供たちだけで行います。考えながら行う作業も、年を重ねるごとにスムーズにでき

教育課題特集

生きる力を



るようになってきました。高学年の人数が足りないため、三・四年生も参戦してくれま
す。また、後輩の試合の時は先輩が応援に行き、試合中の給水サポートをします。学年を越えて仲間と認め合いながら少しずつ成長しているように思います。六年生同士も市内三つの小学校より集まっておりますが、サッカー以外にも連絡を取り合い、友情をばぐくんでいるようです。少年団にいたおかげで、友達が増え、視野が広がりました。この経験は子供にとって大きな

財産となることでしょう。今後もサッカーだけでなく、いろいろなスポーツを体験し、大いに人生に役立てて欲しいと思います。



家庭教育

共に学ぶ

勝瀬中学校校保護者 山田 隆雄



子供たちから見た親はどの様に見えているでしょうか？見習うべきよいところもある反面、見習いたくないところもしつかり見られているはず
です。子供が親から学ぶように、私も子供から多くのことを学んでいます。

やってよいこと悪いこと、言つてよいこと悪いことはしつかりと伝えるようにしていきます。繊細な成長期の子供に

対し『怒る』のではなく、伝わるよう『叱る』ことを心がけています。仕事をもち、子供と接する時間が限られますが、学校行事には時間の許す範囲で参加し、子供と話題を共有するようにしています。学校行事で感じることは、父親の参加が母親に対して少ないことです。様々な状況はありますが、もつと多くの父親が参加することで子供たちの

環境を更に変化させることができるのではと感じます。

将来、社会に出た時、ひとつでも役に立つよう自分自身の経験を踏まえ、伝えていくようにしています。自分がされて嫌なことは人にはしないこと、自分がされて嬉しいと思うことを人にすること。常に相手の立場に立つて物事を判断できる人になれるように話をしています。

親として子供の成長に関わる時間は長くはありません。子供と精一杯関わり、共に学んでいきたいと思えます。

交流給食会に参加して

みずほ台小学校学校評議員 石塚 昌宏

みずほ台小学校の重点方針に、「豊かな人間性を育む福祉教育の推進」があります。その一環の取組として、「学校に地域のお年寄りを招き、給食を共に食す交流の場」が設けられています。

学校と地域とのふれ合い活動に尽力された故柴田修一校長は、一人住まいの高齢者の孤独死について、頻繁に各種メディアで報道されていることを沈痛な面持ちで話されて

いました。さらに、地域の方々のふれあいを通してはぐくむことができる子供たちの豊かな心が、かけがえのないものであることも力説されていました。

昨年11月13日、第一回交流給食会が、一・三・五年生の各学級で開催され、私も招かれました。折り紙と笑顔と元気な声で迎えてくれた子供たちは、お年寄りと接する機会が少ないためか、最初は異邦人と食事をするぐらいの気持ちだったのでしようか、私をそつと、ちらちらと見ていました。

短時間でしたが、次第にも打ち解け、久しぶりににぎやかな食事の時間となり、招かれたお年寄りは皆、『元氣』のパワーをもらい、楽しかったと話されていました。お年寄りは、民生・児童委員が、一人住まいで70歳以上の方を中心に、ご家庭を訪問してご招待した方々です。

地域とのふれあいの場は貴重です。さらに発展していく中で、子供たちの豊かな心がより育つていくことを願っています。



学校 TODAY

特集

「学校TODAY」の今回のテーマは「いろいろな人」に学ぶ」です。

子供たちに教えるのは学校の先生だけではありません。地域の方に学校に来ていただいたり、子供たちが地域に出かけたりして、地域の方が培ってきた知識や技術などを教えてもらっています。

郷土のお話をしてくれる方、本の読み聞かせをしてくれる方、点字や手話、料理などを教えてくれる方等々…。多くの方がボランティアとして学校を支援してくださっています。

これからもより多くの方に協力をいただき、様々な場面で子供たちが新しい刺激や感動を受け、豊かな感性を育んでいくことを期待しています。

いろいろな人に学ぶ

本郷中



食に関する指導

望ましい食生活についての知識を身につけるため、給食センターの栄養士さんを招き、学年別に『朝食の大切さ』『疲労と食事』『受験期の食事』について説明していただきました。

諏訪小



車椅子って大変だね

4年生では、2学期の「総合的な学習の時間」で福祉について学習しました。その一環として車椅子体験をしました。車椅子に乗っている人や介助する人の気持ちがわかりました。



一体験学習— 科学未来館にて

ことばによる発表力の向上をめざして、未来館の学習プログラム「見学→調査→対話→発表」に従って、各自が選択・調査したテーマをグループ内で発表しました。



日本文化の良さを実感

6年生では、「総合的な学習の時間」で、日本文化の良さに触れる体験をしました。6月に地域の先生方を招いて、茶道体験と日本舞踊体験を行いました。

市教育相談研究室より

『低体温を考える』

最近の報告によると、低体温の子供が増えていると指摘されています。

そこで今回は、子供の低体温や冷えについて取り上げ、考えてみたいと思います。

一 正常な体温と免疫能力の関係

私たちの正常な体温は、三十六・八度プラスマイナス〇・三四で、約三十六・五度以上なければなりません。そして、体温が一度下がると免疫能力が三十%以上低下し、逆に、一度上がると免疫能力は五百〜六百%もアップすることが生理学上、実証されています。

二 下がってきた現代人の平均体温

体温の統計によると、一九五〇年代の成人男女の平均体温は、三十六・八九度でしたが、二〇〇九年現在においては三十六・二度で、約〇・七も低くなっています。

この傾向は、子供たちにもみられ、今年、サンプル調査として市内の某小学校の子供たちの一週間の平均体温を調べてみたところ、三十六度以下の子供たちがなんと約四割もみられました。

中には三十五度の子供もおり、低体温の広がりや深刻さがうかがわれます。

三 低体温の及ぼす体への影響

低体温は免疫能力を低下させるといいますが、例えばがんとの関連性でいえば、がん細胞は三十五度台で最も活発に増殖



けっこうむずかしい!

難波田城資料館の職員の方々から昔の脱穀方法を学んだ後、5年生全員が実際に脱穀体験をしました。5年生が持っている稲の一部は、5年生が一生けんめい育てたものです。



相手の立場に寄り添って・・・

「盲導犬と出会い、どこへでも行けるという自信あふれる開放感を取り戻した。」「心の目で人の気持ちがよりわかるようになった。」市内在住の山道さんの言葉をかみしめました。

みずほ台小



ふれあい講演会

狭山市を拠点にお菓子作り45年という会社社長をお招きしました。人生に何か大きな足跡を残したいという社長の言葉がメッセージとして深く残ったようです。



福祉・健康体験活動 緊張気味の1年生

点字の仕組みから学びました。実際に点字を打ち始めると、次第にボランティアの方々に質問をしながら、実践力を磨いていました。

富士見台中



非行防止教室

警察署の方に万引きや窃盗などの事例をあげて説明してもらいました。してはいけないこと、言ってはいけないこと、育てたい言葉などわかりやすく教えてもらいました。



大型絵本の読み聞かせ

生活目標「本をたくさん読もう」の取組として毎年行っている「水谷小PTA大型絵本制作会」による読み聞かせです。6年目となる今年度は「ぼくのおなががしろいわけ」です。

針ヶ谷小

① 早寝早起きの規則正しい生活をする
 ② 筋肉量を増やし鍛える
 ・ 毎日三十分程度歩くと筋肉は確実に増え、筋肉が増えると体温は上がるといいます。
 ③ 体を温める食事を心掛ける
 ・ 生姜やジャガイモ等の根菜類等を摂ると温まるといいます。
六 まとめ
 以上のように、低体温が子供の心身に与える悪影響は計り知れません。各ご家庭でも検温を習慣づけ、低体温から子供を守っていただければ幸いです。

四 低体温の及ぼす心への影響
 低体温の影響は体だけでなく、心にも及ぼしており、不眠、不安、イライラ、感情を表現できない、怒りの感情にとらわれている、などが指摘されています。特に小学生では、朝から不機嫌だったり、落ち着かなかつたりする児童の体温を測ると、低体温であることが多いので、これらの指摘は非常に納得出来るものと思われれます。

五 体温をあげる三つの方法
 ① 早寝早起きの規則正しい生活をする
 ② 筋肉量を増やし鍛える
 ・ 毎日三十分程度歩くと筋肉は確実に増え、筋肉が増えると体温は上がるといいます。
 ③ 体を温める食事を心掛ける
 ・ 生姜やジャガイモ等の根菜類等を摂ると温まるといいます。

することが解明されているようです。また、体温が低下すると血管が収縮し、血液が体の隅々にまで行き届きにくくなり、三十五・五度では排泄障害やアレルギー症状が出現するとも指摘されています。なお、その他の代表的な症状としては、肩こり、頭痛、めまい、耳鳴り、吐き気、手足のしびれ、下痢、便秘、消化不良などがあがるそうです。

教育委員会だより

◆富士見市高等学校等入学準備金利子補給のご案内

この制度は、高校、専修学校、専門学校、短期大学及び大学に入学予定のお子さんをお持ちの保護者の方が、日本政策金融公庫の教育一般貸付（入学資金）を受けた場合に、その返済利子の一部又は全部を助成し、経済的負担の軽減を図るものです。

◇利子補給対象者

- (1) 市内在住の方
- (2) 市税を滞納していない方
- (3) 日本政策金融公庫からの教育一般貸付の融資（入学準備金融資）を受けている方

◇利子補給額

利子補給金は、融資額の内70万円以内の額を限度とし、融資を受けた利率で、返済期間5年以内、元利均等月賦償還、据置期間なしで計算した利子の額を市が補助をする。

◇利子補給期間

5年以内

◇申請手続き及び問合せ

富士見市立中央図書館 2階
教育委員会教育総務課まで
TEL 049-251-2711 (内線611)

※教育一般貸付の融資に関する問合せは、日本政策金融公庫へ

- ・ 日本政策金融公庫 川越支店
〒350-1123
川越市脇田本町14番1 (日本生命ビル5階)
電話 (お申込み相談) 049-246-4171



笑顔

東中学校教諭

森尾 俊之



四月八日、一年三組の教室に一步足を踏み入れた時から私の初めての担任生活がスタートした。教室で、真新しい制服に身を包んだ三十七名と出会った瞬間を今でも覚えて

いる。体育祭では、練習を重ねるごとにクラスが団結することができた。優勝こそできなかったが、学年種目ではみんなの頑張りや熱い声援で、見事一位を取ることができた。

そして、クラスの指導の難しさを感じたのが合唱祭だった。最初は協力して取り組むことができずに、怒ってばかりの日々。その度にクラスでの話し合いも行った。ようやく

早いもので、この三十七名と過ごす日も残り三ヶ月となった。ある時、出張のため、クラスを学年主任にお願いした日の翌日、「三組の生徒たちは、よくやっていたよ。」

く形になってきたと思ったのは合唱祭の前日だった。その日の生徒の生活ノートに「先生、今日は笑顔だったね。」という一言があった。忘れかけていたものを思い起こした瞬間だった。

この話をいただき、そのことをクラスで話した。その時の生徒たちの笑顔を見て、最初の頃は生徒たちのいい所を見つけては褒め、笑顔があふれているクラスだったことを思い出し、最近教室の中で怒ってばかりいる自分の姿を痛感した。

この明るく、元氣なクラスがもうじき解散となるのは寂しいが、生徒たちのいい所をたくさん見つけ、笑顔があふれる、思い出の詰まった残り三ヶ月間を生徒とともに過ごしていきたい。

編集日記

朝晩めっきり寒くなりました。この『きんもくせい』が発行される頃は、北国からの雪の便りが、もう届いていることでしょうか。

さて、あるエッセイで国語教育の大家である大村はま先生が、ほめることに関して、次のように語っておられました。とても良い言葉だと思いい、紹介します。

『自然に出てきたものをほめるのではなく、ほめたいものが出てくるように骨を折るのです。』

テストで百点をとった。授業で良い意見を発表した。このような子供をほめるのは当然です。もっと大切なことは授業の中で子供をほめる場面をいかに設定したか。すなわち子供をほめる材料が出てくるような授業の準備（教材研究）をしたかということなのでしょう。

我々教員は良い授業を行う努力を日々行っていますが、さらに加えて、子供のこんな所をこんな風にほめようという視点での授業づくりも是非行っていきたいものです。

(保坂)